

最終更新日： 2024年2月10日

授業科目名 (講義題目)	ベンチャー企業			開講学期	春学期
				曜日時限	金曜 I・II限
				単位数	2
担当教員名	五十嵐 伸吾	講義コード	科目区分	対象学生	
		24176014	選択	1年生/2年生	
開講予定日	①②4/12 ③④4/19 ⑤⑥4/26 ⑦⑧5/10 ⑨⑩5/17 ⑪⑫5/24 ⑬⑭5/31 ⑮6/7				
履修条件	条件とはしないが、「企業財務」、「組織論」、「戦略論」、「イノベーション・マネジメント」、「M&A」等科目を学習することでより学習内容が深まる	キーワード	アントレプレナーシップ、リーン・スタートアップ、新規事業、コーポレート・ベンチャーリング、ベンチャー投資		
全体の教育目標	ベンチャーリング概論の位置づけ。スタートアップに関する全体像を理解し、どのようなフェーズでどのような課題が生じるかを理解する	個別の学習目標	起業機会の認知。アイディエーション、MVP制作から資金調達、組織化など全般プロセスの理解。PBL、ケースによる疑似体験		

授業の概要	現在、日本を含む世界各国でスタートアップはイノベーションの担い手と同時に経済・産業の新たな担い手として期待されている。現実にGAFAM(google,Apple,Facebook,Amazon,Microsoft)に代表される成功したスタートアップは、世界的企業に成長を遂げたばかりではなく、一国の経済・産業・雇用を牽引する存在になっている。一方、近年、「ベンチャー」を社内に取り込み（一般に、「コーポレート・ベンチャーリング」と称される）、あるいはスタートアップへの投資を専業とするベンチャーキャピタル(VC)を企業が運営する（コーポレート・ベンチャーキャピタル：CVC）の設立も活発化している。これは企業内でいかに企業カルチャーを変革し社内から破壊的なイノベーションを実現するかを模索する手段である。本講義では、「少ない経営資源で如何に事業を立ち上げるか」について議論することによって、新規事業の立ち上げに際するマネジメント能力の向上を目指す。				
授業の最新情報 案内方法	九州大学Moodle				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義・演習</li> <li>・ グループワーク</li> <li>・ ディスカッション</li> <li>・ その他（ゲスト講師招聘）</li> </ul>	使用する教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライド資料（電子媒体）</li> <li>・ 映像・音声資料</li> <li>・ その他（ケース・スタディー）</li> </ul>		

<b>授業の進め方</b>	1. グループでの議論に重点を置くため <b>2コマ連続で開講</b> する。 2. 議論の密度を高めるために、事前学習（事前レポート：分量は極力抑える）を求める。 3. 座学、ケース討議、ゲスト講師の招聘を組み合わせ、学生主体の双方向型で講義を進める。
<b>教科書及び 参考図書</b>	適宜、論文・資料等を配布する。講義全体の参考図書としては下記を推奨する。 ○エリック・リース『リーン・スタートアップ』、日経BP社、2012（1,980円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『ビジネスモデル・ジェネレーション～ビジネスモデル設計書』、翔泳社、2012（2,677円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『バリュー・プロポジション・デザイン～顧客が欲しがる製品やサービスを創る』翔泳社、2015（3,080円+税）
<b>試験・成績 評価の方法等</b>	講義への貢献度 30%… 講義への貢献（発言）をカウントする。 事前レポート30%…講義の事前準備としてレポート（A4 2枚程度）の提出をカウントする。 （但し、優れたレポートは加點評価を行う） 最終レポート40%…最終レポートを試験に代替する。（試験は行わない）